

平成24年8月6日

東北支所

## 平成24年度「独立行政法人産業技術総合研究所東北センター一般公開」共催参加報告

### 1. 「独立行政法人産業技術総合研究所東北センター一般公開」の概要

今年も、子供たちが最先端のサイエンスに直に接し、見たり、触ったりして楽しみながら、科学技術に興味、関心を深めていただくことを目的に、研究室見学ツアー「工藝試作品→高温高圧実験室→粘土の研究室」、講座「圧力のおはなし」、「学校で習わなかった人のための放射線のおはなし」が開催され、チャレンジコーナーにおいては、あなたの息は何色？～息に含まれる二酸化炭素を測って見よう～、ポンプをまわして霧をつくろう、高速度カメラでいろんな動きをコマ送り、ストローで結晶模型をつくろう、みそ汁の「うず」の正体を探れ！、あなたの脳はだまされている…などの体験コーナーが開催された。

(1) 開催日時：2012年8月4日（土） 10:00～16:00

全体総来場者数：444人

主催：AIST東北センター

共催：NITE

後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

会場：AIST東北センター

(仙台市宮城野区苦竹 4-2-1)

### 2. NITE広報活動

(1) 出展ゾーン及び展示内容

展示場所は、東北産学官連携研究棟2階セミナー室で、「電池について学ぼう！！」、「共に生きる小さな仲間！！」をテーマに出展した。

製品分野では、玩具や家電製品とその付属品など、様々な製品で使用される電池には色々な種類があり、使用者の誤使用、不注意が事故の一因となったと考えられる事故が発生しており、電池の種類、その上手な選び方、正しい使い方を紹介したパネルを展示して説明するとともに、電池ものしりクイズも行い、鉛筆電池、レモン電池、11円電池、炭電池、

太陽電池、電磁調理器の相互誘導作用による発電を実演した。

また、名取市消防本部、郡山地方広域消防組合消防本部の了承を得て「消防車両のペーパークラフトを作ってみよう。」を開催し、その会場で『製品安全教育DVDハンドブック「くらしの中の身近な製品事故」 小学校高学年向け』を放映した。

バイオ分野では、生物資源課など関係各課の協力の下、コウジカビ、納豆菌及び青カビなどが発酵食品、お酒及び医薬品に役立っていることや、パン酵母、乳酸菌などがパンや乳酸飲料の様々な食品に役立っていることを説明するとともに、身近なキノコ（乾燥標品）、カビ・酵母・細菌（平板培養したシャーレなど）、微生物の模型を展示し、顕微鏡、実体顕微鏡によりカビの観察ができるように展示し、マツタケなどについてはその匂いを体験できるように平板培養したシャーレを展示した。

・配布資料：身・守りハンドブック、夏の事故、NBRCパンフ など

## (2) 来場者について

来場者は、乳幼児から高齢者まで幅広く、一人一人にN I T E東北支所職員が丁寧かつ分かり易く説明を行った。

N I T Eブースの当日の様子



製品安全分野



バイオ分野

### 3. まとめ

製品分野では、電池には色々な種類があり、使用者の誤使用、不注意が事故の一因となったと考えられる事故が発生しており、電池の種類、その上手な選び方、正しい使い方を紹介したパネルも展示し、来場者に事故調査の趣旨や電池による事故について説明などを行った。N I T Eの説明に対して、その存在や事故情報収集制度を知らなかった来訪者が多かったが、電池での事故への感心は高く、かなりの反響が得られた。来場者の意見としては「説明を聞いて、身近な電池での事故について改めて注意したい。」との声が多く、今回の参加によりN I T E及び事故調査への期待がさらに高まったものと思われる。

また、バイオ分野では、コウジカビ、納豆菌及び青カビなどが発酵食品、お酒及び医薬品に役立っていることや、パン酵母、乳酸菌などがパンや乳酸飲料の様々な食品に役立っていることを説明するとともに、身近なキノコ（乾燥標品）、カビ・酵母・細菌（平板培養したシャーレなど）、微生物の模型を展示し、顕微鏡、実体顕微鏡によりカビの観察を行った。来場者の意見としては「様々な製品に微生物が役立っていることの説明を聞いて驚いた。」との声が多く、かなりの反響が得られことから、N I T Eの宣伝効果があったものと思われる。

以 上